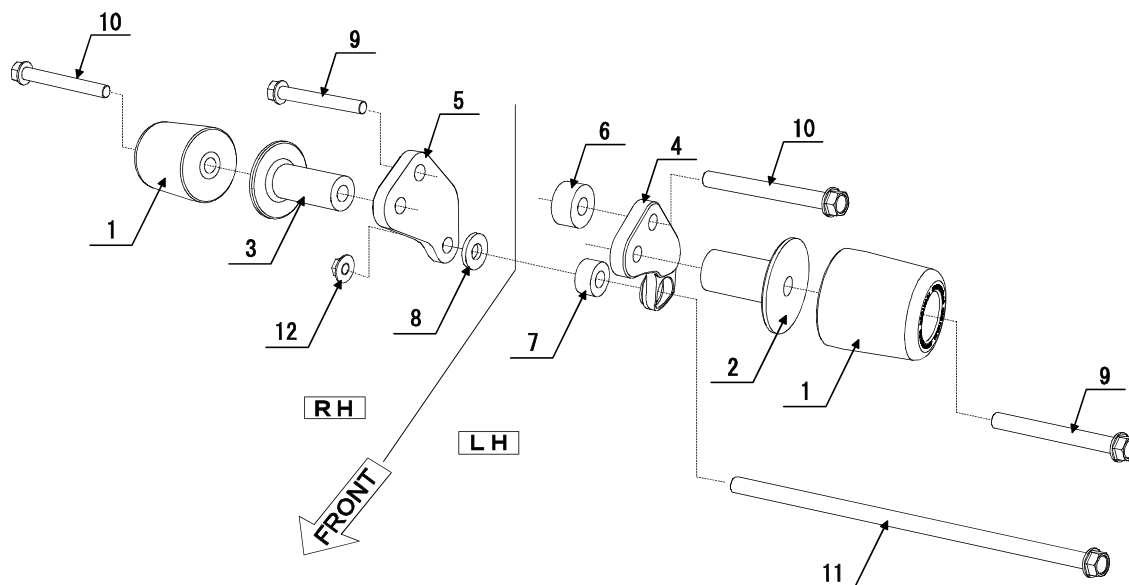
MORIWAKI SKIDPAD KIT
‘１２ ＣＢＲ２５０Ｒ
取扱説明書

作業される前に必ずお読み下さい。
本説明書は大切に保管し、メンテナンス等の際にいつでも見られるようにしてください。

【パーツ一覧】

Ｎｏ．	部品番号	商品名	入数	単価（税抜）
1	５０３６０－１０１６６－００	ﾊﾟｯﾄﾞ５０ｍｍｘΦ　１０，ｽｷｯﾄﾞ、ﾅﾁｭﾗﾙ	2	￥４,５００
	５０３６０－１１１６６－００	ﾊﾟｯﾄﾞ５０ｍｍｘΦ　１０，ｽｷｯﾄﾞ、ﾌﾞﾗｯｸ	2	￥４,５００
	５０３６０－１２１６６－００	ﾊﾟｯﾄﾞ５０ｍｍｘΦ　１０，ｽｷｯﾄﾞ、ｽﾀｰﾗｲﾄ	2	￥５,０００
2	５０３６１－２０１Ｇ８－２０	ﾍﾞｰｽ４５ｍｍｘΦ　１０,ﾊﾟｯﾄﾞ、ｽｷｯﾄﾞ	1	￥１,７５０
3	５０３６１－２０１Ｇ８－３０	ﾍﾞｰｽ５５ｍｍｘΦ　１０,ﾊﾟｯﾄﾞ、ｽｷｯﾄﾞ	1	￥１,９００
4	５０３６１－２０１Ｇ８－１０	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄＬＨ	1	￥５,６００
5	５０３６１－２０１Ｇ８－００	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄＲＨ	1	￥３,０００
6	Ａ２５１０１３０	ｱﾙﾐｶﾗｰ　Ｄ２５ｘｄ１０.２ｘＬ１３	1	￥２１０
7	Ａ２１１００１０	ｱﾙﾐｶﾗｰ　Ｄ２１ｘｄ１０.２ｘＬ１０	1	￥１８０
8	Ａ２３１００３０	ｱﾙﾐｶﾗｰ　Ｄ２３ｘｄ１０.２ｘＬ３	1	￥１５０
9	９１７０－１００８０－１６１０	ﾎﾞﾙﾄ、ﾌﾗﾝｼﾞ　Ｍ１０ｘ８０	2	￥３９０
１０	９１７０－１００９０－１６１０	ﾎﾞﾙﾄ、ﾌﾗﾝｼﾞ　Ｍ１０ｘ９０	2	￥４００
１１	９７３２６０－１０２９５	ﾎﾞﾙﾄ、ﾌﾗﾝｼﾞ　Ｍ１０ｘ２９５	1	￥９８０
１２	９８２０１０－１００００	ﾅｯﾄ、ﾌﾗﾝｼﾞ　Ｍ１０	1	￥１００
１３		取扱説明書	1	

【製品名】

ホンダ 12 CBR250R スキッドパッドキット

色…ナチュラル　（Parts. No.05030－201G8－00）

色…ブラック　　（Parts. No.05030－211G8－00）

色…スターライト（Parts. No.05030－221G8－00）

【仕様】

《適応車種》　　車種名　’12 CBR250R

【準備物】

〈工具〉　5 [mm]ヘキサゴンレンチ、14[mm]ソケットレンチ

トルクレンチ、＋ドライバー、ホールソー、ヤスリ等（穴あけ工具）

〈その他〉　軍手、ウエス

⚠ 注意事項

① 作業はエンジンが十分冷めてから行って下さい。エンジンやマフラーに触れて火傷をする可能性があります。
② 作業する時は、けが防止のため、必ず軍手を着用して下さい。
③ エンジンを運転する場合には、必ず換気の良い場所で行って下さい。
④本製品は、適用車種以外の車種には絶対に使用しないで下さい
⑤走行中の振動により、ボルト類が緩むことがあります。乗車前には必ず点検を行い、必要に応じて増し締めを行って下さい。特に転倒時には緩みやすくなりますので、必ず点検をして下さい。
⑥転倒等により本製品が損傷した場合には、すみやかに新しい製品に取り替えるようにして下さい。
⑦転倒歴のある車両では、取り付けることができない場合があります。確実に取り付けることができない場合には本製品を使用しないで下さい。
⑧本製品は車体転倒時のエンジン本体とその周辺部分の損傷軽減を目的とした部品でありますが、転倒状況によってはエンジン本体やその周辺部分に損傷が生じる場合があります。安全な運転と慎重な車体の取扱を心がけて下さい。

作業される際は、ケガや事故の無い様に充分注意して下さい。
また、作業に不慣れな方は専門家にお任せする事をお勧め致します。

【カウル穴加工】

本製品は、カウルの穴加工が必要です。

型紙が同梱されています。(RH用、LH用)

この型紙は、あくまでも目安ですので、最終的には、車体に合わせて穴位置を決定して下さい。

①型紙を使って、カウルに穴センターの目印を付けます。
型紙の穴センターに小さな穴をあけておき、型紙をカウルにテープで固定し、
マジックなどでカウルに印を付けます。

②ホールソー等を使って穴をあけます。（図1、2参照）
**車体誤差や、型紙の位置ずれ、加工精度等によって、穴位置が微妙にずれますので、
まず最初にφ18程の穴をあけます。**

次に、**現物合わせを行いながら、リューターや、やすり等で目的の大きさまで広げて行きます。**
仕上がり径は、φ24～φ26くらいが目安です。

図1, サイドカウルRH

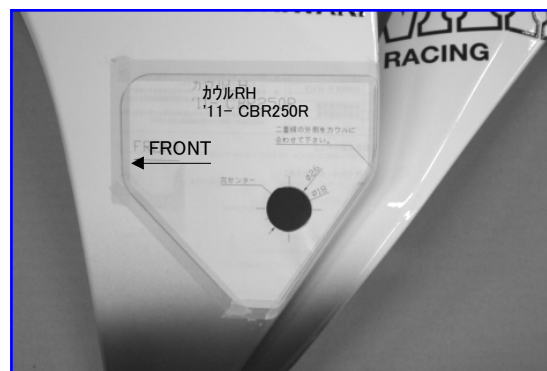



図2, サイドカウルLH

【取付方法】

**ベースプレートの取付けは、必ず片側ずつ行なって下さい。
両側のエンジンハンガーボルトを一度にはずすと、エンジンが移動して、
ボルトが入らなくなる恐れが有ります。**

①ベースプレートLHを取り付けます。
・純正エンジンマウントボルトを外します（左側2箇所）
・パーツNo,6のカラーをベースプレートLHとフレームの間に入れ、フランジボルト(M10x90)で仮止めします。（構成部品図参照）
・パーツNo,7のカラーをベースプレートLHとフレームの間に入れ、フランジボルト(M10x295)を通します。（構成部品図参照）

②ベースプレートRHを取り付けます。
・純正エンジンマウントボルトを外します（右側1箇所）
・パーツNo,8のカラーをベースプレートRHとフレームの間に入れ、フランジボルト(M10x80)で仮止めします。（構成部品図参照）
・M10フランジナットを仮締めします。

③規定トルクで締め付けます。
各部を均等に仮締めした後、規定トルクで締め付けます。
【ボルト M10】: 44Nm (4.5kgf-m)

図3, ベースプレートRH

図4, ベースプレートLH

④サイドカウルを取り付けます。

・サイドカウルRHを取付け、固定します。

・サイドカウルLHを仮付けします。

カウルとボルト及び、ベースプレートLH間の正規クリアランスは1mmとなっております。

カウルを固定した状態で干渉が認められる場合は、再度取り付け直して下さい。
取り付け直してもカウルが干渉する場合、又はクリアランスが気になる方はカウルの加工をお勧め致します。（図5参照）

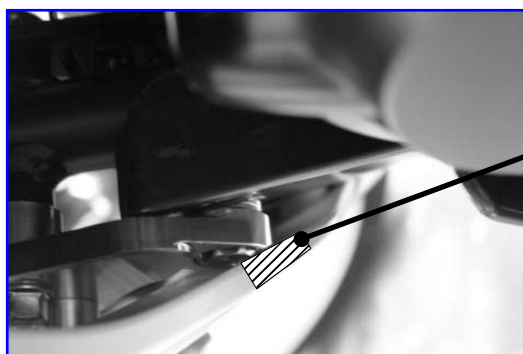
図中の削り範囲はあくまでも目安ですので、最終的には現物合わせで決定して下さい。

※斜線部分を削り取って下さい。

図5, サイドカウルLH削り加工

⑤ﾍﾞｰｽ及び、ﾊﾟｯﾄﾞを取り付けます。

構成部品図を参考に仮付けして下さい。
規定トルクで締め付けます。
【ボルト M10】: 44Nm (4.5kgf-m)

図6, パッドRH取り付け

図7, パッドLH取り付け

走行前、走行後に各部の干渉や締め忘れが無い事を十分に確認して下さい。

【メンテナンスについて】

振動によって、ボルト、ナット類が緩むことがありますので、必要に応じて増し締めをして下さい。
特に転倒時には緩みがないか、点検をして下さい。

【返品について】

本製品につきましては、初期不良が存在する場合を除き、一切返品に応じることができませんのでご了承下さい。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。
製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社モリワキエンジニアリング
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町6656-5
Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152
HP http://www.moriwaki.co.jp